

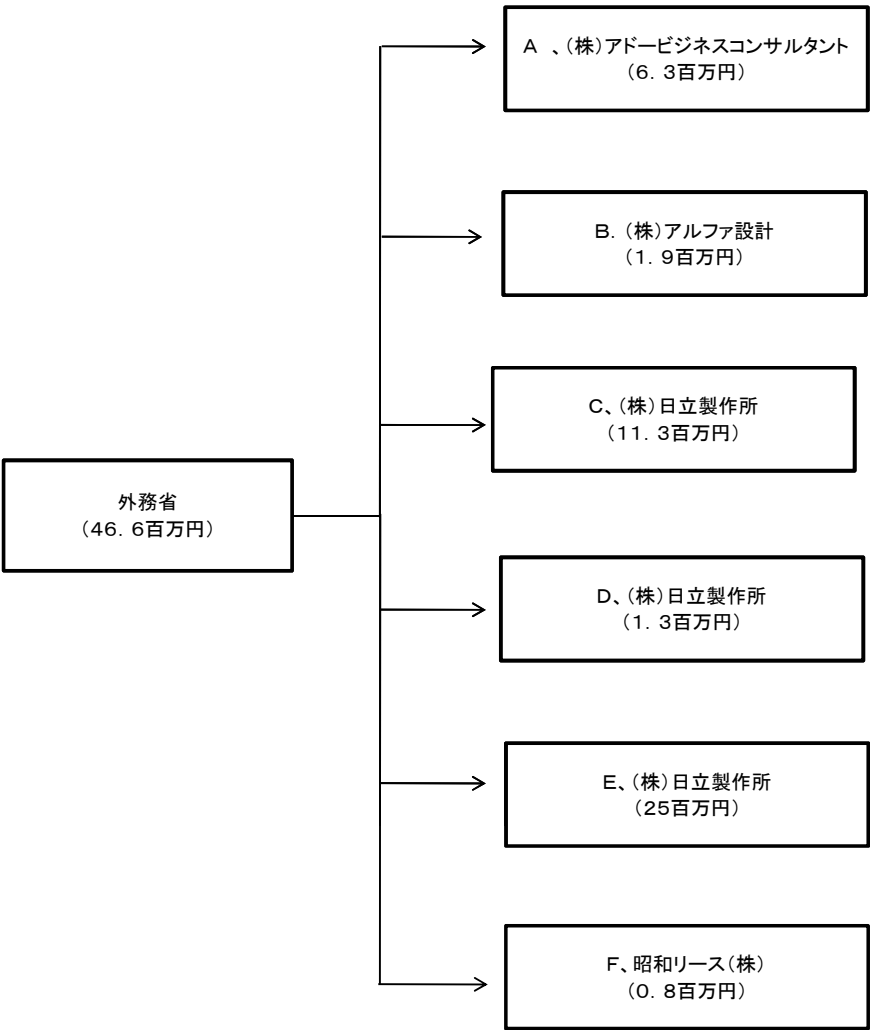
平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	経済協力情報管理システム			担当部局庁	国際協力局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	—			担当課室	開発協力企画室			室長 長徳 英晶	
会計区分	一般会計			政策・施策名	VI-1 経済協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項第1号(ハ)、24号			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	DACへの我が国のODA関連統計の提出を含む、経済協力関係の情報管理に伴うOA機器によるシステム運用								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	経済協力及びその事務の多様化・複雑化への対応策としてOA機器を利用した、情報の収集・管理、関連情報の有効活用、関連機関との情報の相互利用、情報伝達の効率化を行っていくための情報管理体制整備経費								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	—	—	—				
		繰越し等	—	—	—				
		計	59	51	52	49			
	執行額		55	49	48				
	執行率(%)		92.62%	96.15%	92.72%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	成果目標:経済協力情報管理システムの構築を通じ、国際的なODA統計の一部として報告するとともに、国内的に我が国のODAの実績を報告する。			成果実績	回数	2回	2回	2回	2回
	成果実績:OECD・DAC事務局へのODA実績報告数			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績:DAC事務局に報告するための統計データ(今年度案件数:約37,000件、案件毎の調査項目:60項目)を収集・分析の上、同事務局に報告するとともに、図表等に加工の上、統計データとしてODA白書等各種資料に活用している。			活動実績 (当初見込み)	入力件数 (項目数)	32,029件 (60項目)	39,445件 (60項目)	32,058件 (61項目)	35,000件 (61項目)
単位当たりコスト	(1,453円/件数)			算出根拠	執行額/件数にて算出				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	システム運用・保守		48						
	機材借料		1						
	計		49						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国際機関（OECD開発援助委員会（DAC））に提出する統計データの集計作業に必要不可欠であると共に、国民へのODAの啓蒙資料等各種資料作りに必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	業者選定に当たっては、価格面に加え、統計システムの維持管理のノウハウを有しているかどうか。審査を行い妥当な選定がなされるよう努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—	DAC事務局に我が国のODA実績を年2回定期的に報告すると共に、ODA統計データを各種資料に活用している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	我が国の政府開発援助実績を把握し、公表資料を出力するシステムの開発・保守・運営するための経費として妥当なもの。また、データの収集・分析・資料作成に必要な経費である。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	571	平成23年	551	平成24年	274

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



個別事業名:

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(株)アドービジネスコンサルタント			E.、(株)日立製作所		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	ODA等各種資料統計作業	6	システム改修	システム改修・保守	25
	計		6	計		25
	B.(株)アルファ設計			F.昭和リース(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	ODA等各種資料統計作業	2	借料	OA機器借料	1
	計		2	計		1
	C.(株)日立製作所			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	稼働監視料	システム稼働維持・運営	11			
	計		11	計		0
	D.(株)日立製作所			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	保守料	システム・ソフトウェア保守	1			
	計		1	計		0

個別事業名：

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アドービジネスコンサルタン	ODA等各種資料統計作業	6.3	1	99%
2					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アルファ設計	ODA等各種資料統計作業	2.1	7	78%
2					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	システム稼働維持・運営	11.3	随意契約	
2					

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	システム・ソフトウェア保守	1.3	随意契約	
2					

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	システム改修・保守	25	随意契約	
2					

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)昭和リース	サーバ機器借料	0.8	随意契約	
2					